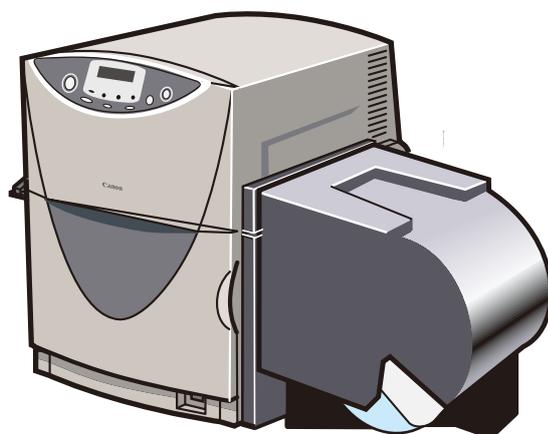


# フォーム設計ソフト

【LX 760 専用 航空貨物ラベル作成ソフト】

## ユーザーズガイド



お使いになる前にこのユーザーズガイドを必ずお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

# 目次

取扱説明書の使いかたについて	3
商標について	3
略称について	3
お客様へのお願い	3
1. はじめに	4
1.1 フォーム設計ソフトの概要	4
1.2 フォーム設計ソフトをお使いになる前に	5
2. フォーム設計ソフトの起動と終了	6
2.1 フォーム設計ソフトの起動方法	6
2.2 メイン画面の構成	7
2.3 フォーム設計ソフトの終了方法	8
3. フォーム設計ソフトの使いかた	9
3.1 [ファイル] メニュー	9
3.1.1 [新規作成] 新しいフォームをデザインする	9
3.1.2 [開く] 保存されているデータを開く	11
3.1.3 [閉じる] 現在表示されているファイルを閉じる	11
3.1.4 [保存] 編集中的数据を上書き保存する (現在のファイル名で保存する)	12
3.1.5 [名前を付けて保存] 編集中的数据を新規に名前を付けて保存する	12
3.1.6 [設定] ラベルの用紙の設定を変更する	13
3.1.7 [テスト印刷] ラベルを印刷する	15
3.1.8 [終了] フォーム設計ソフトを終了する	15
3.2 [編集] メニュー	16
3.2.1 [元に戻す] 操作を取り消す	16
3.2.2 [コピー] オブジェクトをコピーする	16
3.2.3 [貼り付け] オブジェクトを貼り付ける	16
3.2.4 [前面へ] オブジェクトを前面へ移動する	17
3.2.5 [背面へ] オブジェクトを背面へ移動する	18
3.2.6 [左揃え] [右揃え] [中央揃え] [上揃え] [下揃え] オブジェクトを配置する	19
3.2.7 [すべてを選択] すべてのオブジェクトを選択する	19

3.3	[オブジェクト] メニュー	20
3.3.1	[選択] オブジェクトを選択する	20
3.3.2	[線] [水平線・垂直線] 直線を追加する	21
3.3.3	[矩形] 四角形を追加する	22
3.3.4	[楕円] 楕円を追加する	23
3.3.5	[イメージ] 画像を追加する	25
3.3.6	[バーコード] バーコードを作成する	26
3.3.7	[文字] 文字を追加する	27
3.3.8	[ロック] オブジェクトのサイズ変更・移動を禁止する / 禁止解除する	29
3.3.9	[全てのロックを解除] 全てのロックを解除する	29
3.3.10	[削除] オブジェクトを削除する	29
3.4	[表示] メニュー	30
3.4.1	[ツールバー] ツールバーを表示する / 非表示にする	30
3.4.2	[ステータスバー] ステータスバーを表示する / 非表示にする	30
3.4.3	[全体] [拡大] イメージを全体表示する / 拡大表示する	30
3.4.4	[グリッド表示] グリッドを表示する / 非表示にする	30
3.4.5	[グリッドに位置合わせする] オブジェクトをグリッド位置に合わせて配置する	30
3.4.6	[グリッド設定] グリッド単位を設定する	31
3.5	[ヘルプ] メニュー	31
3.5.1	[目次] オンラインヘルプを表示する	31
3.5.2	[トピックの検索] オンラインヘルプのトピック検索を表示する	31
3.5.3	[フォーム設計 (NE) バージョン情報] フォーム設計ソフトのバージョンを調べる	31

# 取扱説明書の使いかたについて

本製品では次の取扱説明書をご用意しています。必要に応じてご利用ください。

- ソフトウェアのインストールなど、セットアップについて→ 

[航空貨物ラベル作成ソフト セットアップガイド](#)

- ラベル発行ソフトを起動して、すぐに印刷を行いたい→ 

[「航空貨物ラベル作成ソフト」CD-ROM に収録のラベル発行ソフト ユーザーズガイド](#)

収録先： e:\Manual¥ ラベル発行ソフト UG.pdf

(e:の部分はお使いのコンピュータのCD-ROM ドライブ名を指定してください)

- オリジナルデザインのラベル（フォーム）を作成したい→ 

[「航空貨物ラベル作成ソフト」CD-ROM に収録のフォーム設計ソフト ユーザーズガイド（本書）](#)

収録先： e:\Manual¥ フォーム設計ソフト UG.pdf

(e:の部分はお使いのコンピュータのCD-ROM ドライブ名を指定してください)

- プリンタドライバのインストールなど、LX 760 プリンタのセットアップについて→ 

[LX 760 スタートガイド](#)

LX 760 プリンタに同梱の取扱説明書（冊子）です。

- プリンタに用紙をセットするなど、LX 760 プリンタの使い方について→ 

[「プリンタソフトウェア CD-ROM」に収録のユーザーズガイド](#)

ユーザーズガイドの読み方については、「LX 760 スタートガイド」（冊子）の「ユーザーズガイドを読む」をご覧ください。

## 商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

## 略称について

- Microsoft® Windows® 7 日本語版を Windows 7 と表記しています。
- Microsoft® Windows Vista® (x86) 日本語版を Windows Vista と表記しています。
- Microsoft® Windows® XP 日本語版を Windows XP と表記しています。
- Microsoft® Windows® 2000 日本語版を Windows 2000 と表記しています。
- Microsoft® Windows® を Windows と表記しています。

## お客様へのお願い

- 本書の一部または全部を無断で転載する事は、禁止されています。
- 本ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、将来予告無しに変更される場合があります。
- 本書は、本ソフトウェアの取扱いについて説明することを目的として制作されています。OS（基本ソフト）や、アプリケーションソフトなど、その他の製品の取扱いについては、それぞれの製品に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 本ソフトウェアを運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、予めご了承ください。

# 1. はじめに

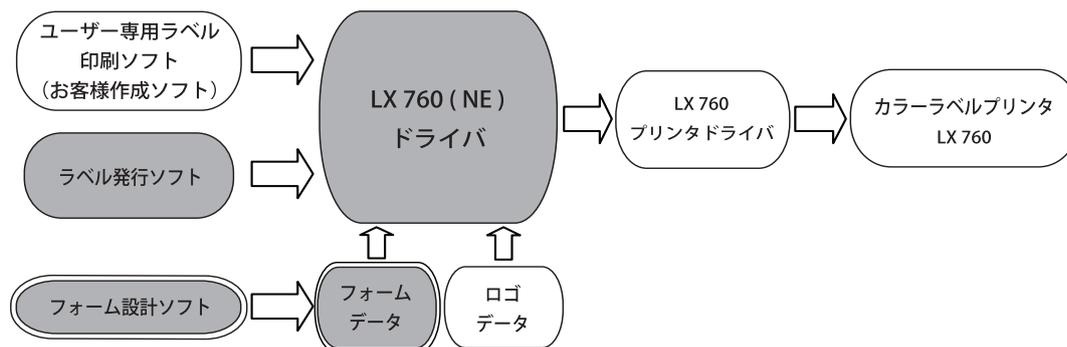
このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

## 1.1 フォーム設計ソフトの概要

航空貨物ラベル作成ソフトは、航空貨物に貼付けるラベルを作成し、カラーラベルプリンタ LX 760 で印刷するためのソフトウェアです。

フォーム設計ソフトは、航空貨物ラベル作成システムのうちの1つで、インストールしたフォームデータを使って、新しいフォームデータを作ります。本書では、フォーム設計ソフトについて詳しく説明します。

### ●航空貨物ラベル作成ソフトを使った全体システム



 : 航空貨物ラベル作成ソフト CD-ROM に収録されているソフトウェアおよびデータ

 : 本書で説明するソフトウェア

**フォームデータ：** 航空貨物ラベルのレイアウトデザインデータです。航空貨物ラベル作成ソフトではいくつかフォームデータを用意していますので、印刷したいフォームデザインを使ってすぐに印刷することができます。  
また、フォーム設計ソフトを使うと、オリジナルのフォームデータを作ることができます。

**ロゴデータ：** 航空会社などの識別表示用のロゴイメージデータです。

**ラベル発行ソフト：** フォーム設計ソフトで作成したフォームデータ上に、印刷するロゴ情報や航空運送状番号、仕向地などを入力して航空貨物ラベルデータを作り、印刷を実行します。

**LX 760 (NE) ドライバ：** ラベル発行ソフトで入力したラベルデータからフォームデータとロゴデータを合わせてラベルイメージ（航空貨物ラベルデータ）を作ります。

**LX 760 プリンタドライバ：** 上記 LX 760 (NE) ドライバが処理したラベルイメージをカラーラベルプリンタ LX 760 で印刷できるように処理します。

**LX 760 プリンタ：** LX 760 プリンタドライバが処理したデータを受信し印刷します。



### ●ラベル発行ソフトについては、「航空貨物ラベル作成ソフト」CD-ROM に収録されている「ラベル発行ソフト ユーザーズガイド」をご覧ください。

ラベル発行ソフトユーザーズガイドの収録先：e:\Manual\ラベル発行ソフトユーザーズガイド .pdf  
(e:の部分はお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブ名を指定してください)

### ●LX 760 プリンタドライバ、カラーラベルプリンタ LX 760 についての詳細は、LX 760 のスタートガイドおよびプリンタソフトウェア CD-ROM に収録されているユーザーズガイドをご覧ください。

本ソフトウェアをご利用になり、お客様にてラベル印刷システムを開発される場合は、ご購入いただきました営業までお問い合わせください。お客様のご要望に合わせて、サポートいたします。

## 1.2 フォーム設計ソフトをお使いになる前に

フォーム設計ソフトをお使いになる前に、次のことを確認してください。

### Windows 7 の場合

1. Windows の [スタート] メニュー → [コントロールパネル] → [デバイスとプリンターの表示] を選択し、「プリンターと FAX」を表示します。
2. 「LX 760 (NE) ドライバ」を右クリックし、[通常使うプリンターに設定] を選択します。

### Windows Vista の場合

1. Windows の [スタート] メニュー → [コントロールパネル] → [プリンタ] を選択し、プリンタフォルダを開きます。
2. 「LX 760 (NE) ドライバ」をクリックし、[プリンタ] メニュー → [通常使うプリンタに設定] を選択します。

### Windows XP の場合

1. Windows の [スタート] メニュー → [コントロールパネル] をクリック → [プリンタと FAX] をダブルクリック → [LX 760 (NE)] をクリックします。
2. [プリンタ] メニュー → [通常使うプリンタに設定] を選択します。

### Windows 2000 の場合

1. Windows の [スタート] メニュー → [設定] → [プリンタ] を選択し、プリンタフォルダを開きます。
2. 「LX 760 (NE) ドライバ」をクリックし、[ファイル] メニュー → [通常使うプリンタに設定] を選択します。

### ●プリンタドライバは、次の2つのインストールが必要です。

どちらか一方のみのインストールの場合、フォーム設計ソフトは正しく動作できません。

- ・ LX 760 プリンタドライバ : LX 760 に同梱されている「プリンタソフトウェア CD-ROM」に収録されています。
- ・ LX 760 (NE) ドライバ : 「航空貨物ラベル作成ソフト CD-ROM」に収録されています。

## 2. フォーム設計ソフトの起動と終了

フォーム設計ソフトの起動と終了、機能について説明します。

### 2.1 フォーム設計ソフトの起動方法

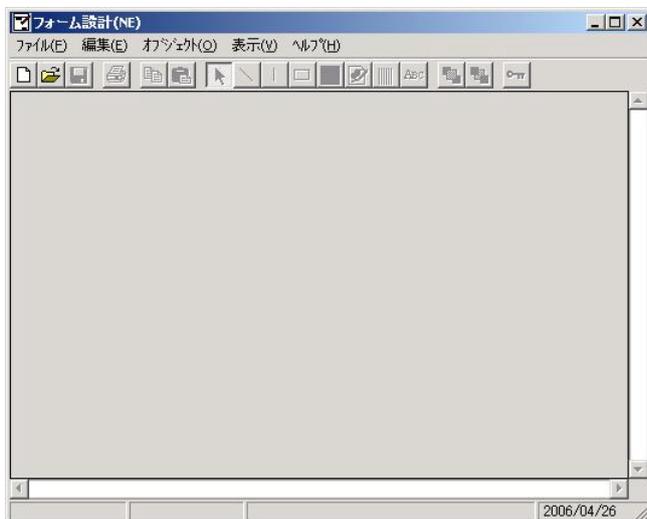
#### Windows 7 / Windows Vista / Windows XP の場合

Windows の [スタート] メニュー → [すべてのプログラム] → [航空貨物ラベル作成] → [フォーム設計 (NE)] を選択します。

#### Windows 2000 の場合

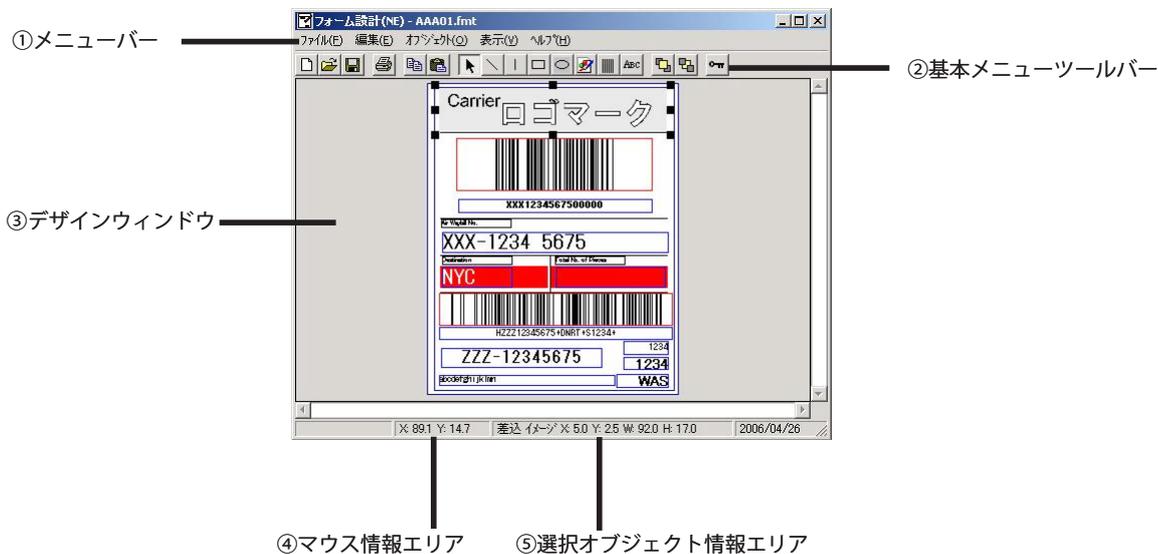
Windows の [スタート] メニュー → [プログラム] → [航空貨物ラベル作成] → [フォーム設計 (NE)] を選択します。

フォーム設計ソフトが起動し、メイン画面が開きます。



## 2.2 メイン画面の構成

フォーム設計ソフトを起動すると、メイン画面が開きます。



既存のフォームデータを開いた場合、デザインウィンドウにフォームデータのイメージが表示されます。

### ①メニューバー

フォーム設計ソフトの操作を選択します。それぞれの文字にカーソルを合わせてクリックすると、サブメニューがプルダウン表示されます。

### ②基本メニュー・ツールバー

頻繁に使用するメニューコマンドが集められボタンとして表示されています。



 新規作成・・・新規にファイルを作成します。

 オブジェクト選択・・・オブジェクトの選択、移動、サイズの変更を行います。

 開く・・・既存のファイルを開きます。

 線・・・線オブジェクトを作成します。

 保存・・・作業中のデザインウィンドウを、現在設定されているファイル名、フォルダに保存します。  
新規作成時はファイル名指定のダイアログが開きます。

 水平線・垂直線・・・水平線または垂直線オブジェクトを作成します。

 イメージ/バーコード/文字・・・イメージ/バーコード/文字オブジェクトを作成します。

 印刷・・・現在開いているデータを印刷します。

 前面へ/背面へ・・・オブジェクトの重なり順番を変更します。

 コピー/貼り付け・・・現在選択されているオブジェクトに対してコピー、貼り付けをします。

 ロック/ロック解除・・・選択中のオブジェクトをロック、ロック解除します。ロックされたオブジェクトは位置とサイズの変更ができなくなります。

 矩形/楕円・・・矩形/楕円オブジェクトを作成します。

③デザインウィンドウ

作成されたフォームが印刷イメージで表示されます。また、編集操作を助けるためのグリッドラインなどが表示されます。

④マウス情報エリア

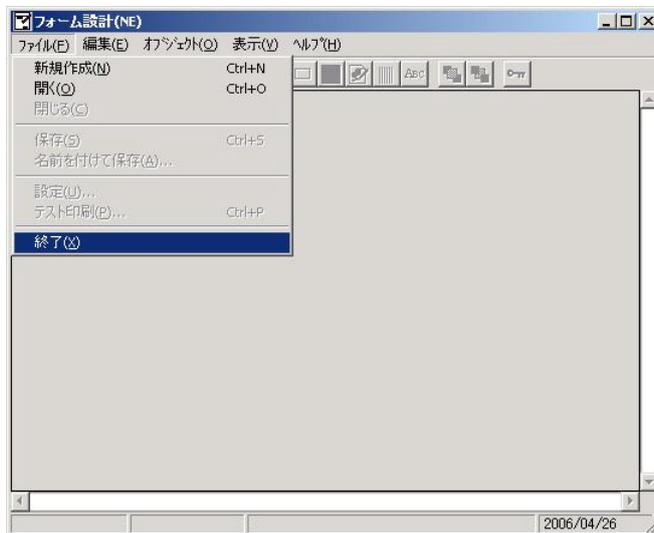
現在のマウスの位置を表示します。

⑤選択オブジェクト情報エリア

現在選ばれているオブジェクトの種類、サイズなどを表示します。

## 2.3 フォーム設計ソフトの終了方法

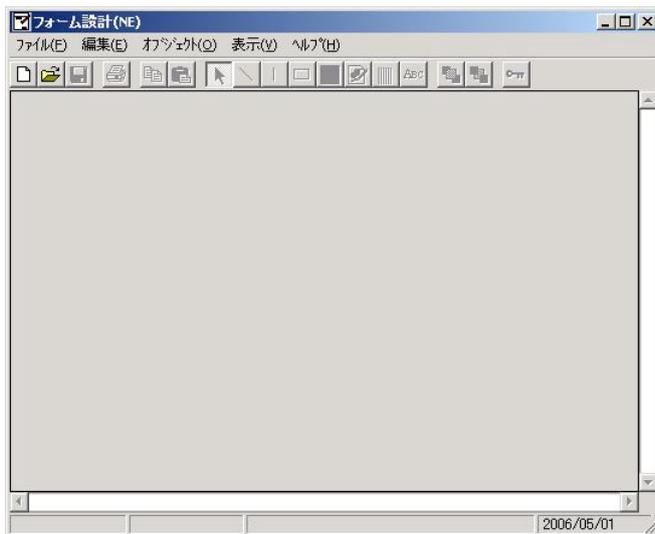
[ファイル] メニュー → [終了] を選択します。



または、Windows タイトルバーにある終了ボタン  をクリックしても終了することができます。

## 3. フォーム設計ソフトの使いかた

フォーム設計ソフトの使いかたを説明します。



- フォーム設計ソフトと同じ設定項目が LX 760 プリンタドライバの印刷設定にもある場合、印刷はフォーム設計ソフトでの設定内容が優先されます。ただし実際の印刷では、ラベル発行ソフトなど他のソフトウェアの設定によって異なる場合があります。

例えば本ソフトウェアで [ファイル] → [新規作成] をクリックして表示される [設定] ダイアログの [用紙] [カッター] [向き] [オーバーレイ・モード] などの設定は、LX 760 プリンタドライバの印刷設定にもありますが、本ソフトウェアで作成したフォームデータの設定が印刷に反映されます。

### 3.1 [ファイル] メニュー

#### 3.1.1 [新規作成] 新しいフォームをデザインする

1. ツールバーの [新規作成] アイコンをクリックします。



または [ファイル] → [新規作成] を選びます。

2. [設定] ダイアログが表示されますので、作成するデータに合わせて用紙を選択します。



[用紙]: ラベルフォームの用紙のタイプを選択します。  
4 × 1.5 ラベル/ギャップ 4 × 3 ラベル/ギャップ 4 × 5 ラベル/ギャップ 4 × 8 ラベル/ギャップ  
2 × 1.5 ラベル/ギャップ 2 × 3 ラベル/ギャップ 2 × 8 ラベル/ギャップ ユーザ定義

[カスタム設定]: [用紙] で選んだ用紙タイプについてさらに細かく設定することができます。クリックすると、設定ダイアログが開きます。



## ●カスタム設定の [設定ダイアログ] について



[タイプ]： [ラベル/ギャップ]、[タグ/マーカ]、[TOFなし] の3種類があります。

- ・ラベル/ギャップ： 通常のラベル用紙です。ラベル間のギャップを感知して用紙の先端を確認します。
- ・タグ/マーカ： タグ用紙の裏側に TOF マークが印刷してあるタイプです。
- ・TOFなし： TOF マークが印刷してないタイプです。

[用紙サイズ/TOFサイズ]： プリンタで使用する用紙を選択します。用紙で指定されたラベルの、用紙のサイズ [長さ (mm)]、[幅 (mm)] および [ギャップ (mm)] を入力します。

[ギャップ]： 左右のギャップを mm 単位で指定します。

[余白]： 用紙の上下左右の余白を mm 単位で指定します。

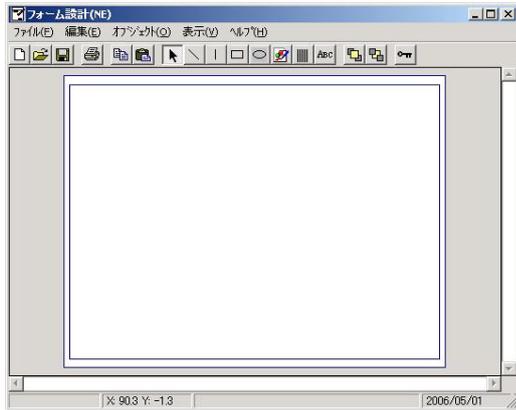
[標準に戻す]： 指定した変更を初期値（何も設定していない状態）に戻します。

[カッター]： カッターの有無を指定します。「あり」にした場合、枚数単位でカット間隔の指定も行えます。ただし実際の印刷では、ラベル発行ソフトなど他のソフトの設定によって異なります。

[向き]： 用紙の向きを [縦]、[横] のいずれかから指定します。

[オーバーレイ・モード]： オーバーレイ・モードを [OR] または [MASK] のいずれかから選びます。[OR] は固定データと差込データの重なる部分も印刷し、[MASK] は固定データの重なる部分は印刷されません。ただし、ラベル発行ソフトなど他のソフトをお使いの場合、[MASK] 処理で印刷されます。

1. [OK] をクリックします。  
[設定] ダイアログが閉じ、デザインウィンドウに新規フォームイメージが表示されます。



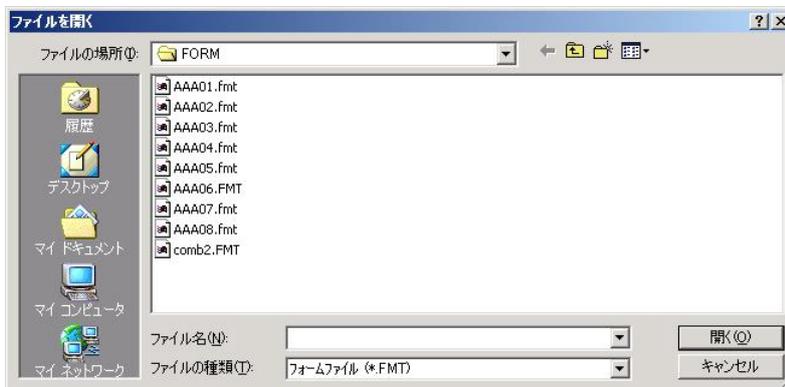
### 3.1.2 [開く] 保存されているデータを開く

1. ツールバーの [開く] アイコンをクリックします。



または [ファイル] → [開く] を選びます。

2. [ファイルを開く] ダイアログが表示されますので、開きたいファイルを選択して [開く] をクリックします。



- フォーム設計ソフトで開けるファイルは「XXXXX.FMT」です。(XXXXX は任意に付けるファイル名)

### 3.1.3 [閉じる] 現在表示されているファイルを閉じる

1. [ファイル] → [閉じる] を選びます。

デザインウィンドウに表示したファイルや作成中のファイルが閉じます。  
作成中の保存していないデータがある場合は、保存を確認するダイアログが表示されます。



保存する場合は [はい] をクリックします。

新規にフォームを作成したときは [名前を付けて保存] ダイアログが表示され、データに名前を付けて保存します。

→ 下記 3.1.5 [名前を付けて保存] をご覧ください。

[いいえ] をクリックすると、保存しないでデータを閉じます。

### 3.1.4 [保存] 編集中的数据を上書き保存する (現在のファイル名で保存する)

2. ツールバーの [保存] アイコンをクリックします。

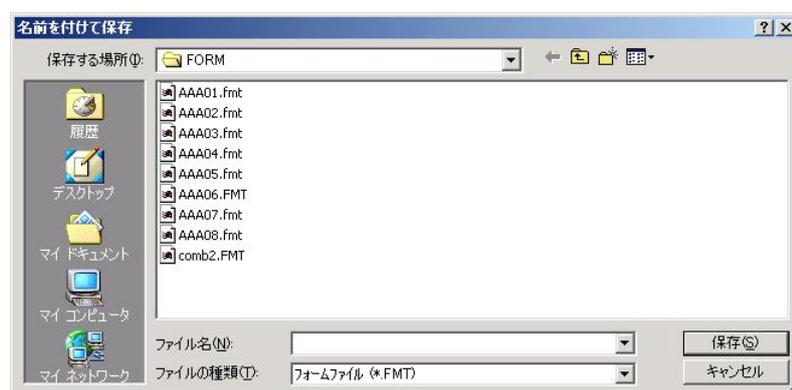


または [ファイル] → [保存] を選びます。

### 3.1.5 [名前を付けて保存] 編集中的数据を新規に名前を付けて保存する

1. [ファイル] → [名前を付けて保存] を選びます。

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。



2. [ファイル名] に新規ファイルの名前を入力し、[保存] をクリックします。

既にあるファイルを入力すると、そのファイルに上書き保存されますのでご注意ください。



- ファイルを保存すると、「XXXXX.FMT」「XXXXX.IDF」「XXXXX.OFD」の3つのファイルが作成されます。  
(XXXXX は任意に付けるファイル名)

ファイルを開くときは「XXXXX.FMT」ファイルを使いますが、3つのファイルがそろっていないと正しく印刷できなくなりますので (3つのファイルで1セット)、セットごとにファイルのコピーやバックアップなど管理してください。

- ファイル名は必ず半角英数5文字 (拡張子は除く) で付けてください。

### 3.1.6 [設定] ラベルの用紙の設定を変更する

ラベルフォームの用紙のタイプを選択し、変更することができます。

1. [ファイル] → [設定] を選びます。  
[設定] ダイアログが表示されます。



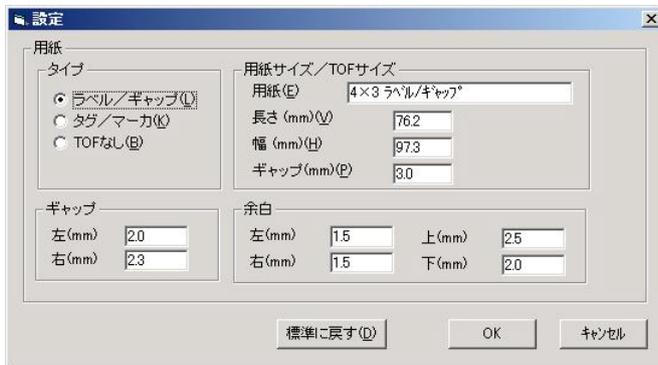
[用紙] : ラベルフォームの用紙のタイプを選択します。

4 × 1.5 ラベル / ギャップ 4 × 3 ラベル / ギャップ 4 × 5 ラベル / ギャップ 4 × 8 ラベル / ギャップ  
2 × 1.5 ラベル / ギャップ 2 × 3 ラベル / ギャップ 2 × 8 ラベル / ギャップ ユーザ定義

[カスタム設定] : [用紙] で選んだ用紙タイプについてさらに細かく設定することができます。  
クリックすると、設定ダイアログが開きます。



#### ● カスタム設定の [設定ダイアログ] について



[タイプ] : [ラベル/ギャップ]、[タグ/マーカ]、[TOFなし] の3種類があります。

- ラベル/ギャップ : 通常のラベル用紙です。ラベル間のギャップを感知して用紙の先端を確認します。
- タグ/マーカ : タグ用紙の裏側に TOF マークが印刷してあるタイプです。
- TOFなし : TOF マークが印刷してないタイプです。

[用紙サイズ / TOF サイズ] : プリンタで使用する用紙を選択します。用紙で指定されたラベルの、用紙のサイズ [長さ (mm)]、[幅 (mm)] および [ギャップ (mm)] を入力します。

[ギャップ] : 左右のギャップを mm 単位で指定します。

[余白] : 用紙の上下左右の余白を mm 単位で指定します。

- [標準に戻す]： 指定した変更を初期値（何も設定していない状態）に戻します。
- [カッター]： カッターの有無を指定します。「あり」にした場合、枚数単位でカット間隔の指定も行えます。ただし実際の印刷では、ラベル発行ソフトなど他のソフトの設定によって異なります。
- [向き]： 用紙の向きを [縦]、[横] のいずれかから指定します。
- [オーバーレイ・モード]： オーバーレイ・モードを [OR] または [MASK] のいずれかから選びます。  
[OR] は固定データと差込データの重なる部分も印刷し [MASK] は固定データの重なる部分は印刷されません。ただし、ラベル発行ソフトなど他のソフトをお使いの場合、[MASK] 処理で印刷されます。



- 用紙の設定は編集中（後）でも変更することができますが、作成したデザインの各オブジェクトの配置レイアウトは、元の用紙設定に沿った形のままで変更されません。編集を始める前に用紙サイズ]を確定することをおすすめします。

### 3.1.7 [テスト印刷] ラベルを印刷する

1. ツールバーの [印刷] アイコンをクリックします。



または [ファイル] → [テスト印刷] を選びます。

2. 印刷確認のダイアログが表示されますので、[OK] をクリックします。



印刷が始まります。

### 3.1.8 [終了] フォーム設計ソフトを終了する

1. [ファイル] → [終了] を選びます。

フォーム設計ソフトが終了します。

作成中の保存していないデータがある場合は、保存を確認するダイアログが表示されます。



保存する場合は [はい] をクリックします。[名前を付けて保存] ダイアログが表示され、データに名前を付けて保存して終了します。

[いいえ] をクリックすると、保存しないでフォーム設計ソフトを終了します。

## 3.2 [編集] メニュー

### 3.2.1 [元に戻す] 操作を取り消す

[編集] → [元に戻す] を選ぶか、または [CTRL] + [Z] キーを押します。  
1つ前に行った操作を元に戻す（取り消す）ことが出来ます。

### 3.2.2 [コピー] オブジェクトをコピーする

1. ツールバーの [選択] アイコンをクリックします。

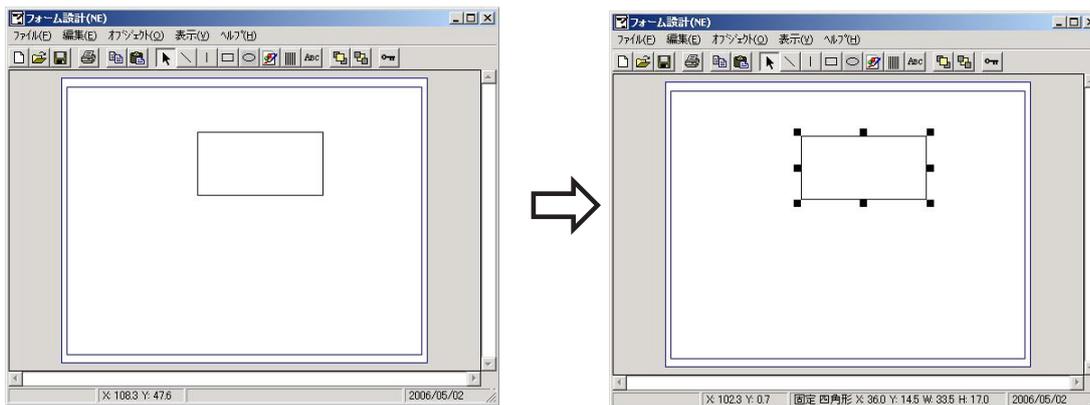


または、[オブジェクト] → [選択] を選び、[選択] の横にチェック「✓」が付いた状態にします。

2. デザインウィンドウのコピーしたいオブジェクトをクリックします。



オブジェクトが選択されます。



3. [コピー] アイコンをクリックします。



または [編集] → [コピー] を選ぶか、[CTRL] + [C] キーを押します。  
選択したオブジェクトがコピーされ、ソフト内部で保持した状態になります。

### 3.2.3 [貼り付け] オブジェクトを貼り付ける

1. ツールバーの [貼り付け] アイコンをクリックします。



または [編集] → [貼り付け] を選ぶか、[CTRL] + [V] キーを押します。  
[コピー] 操作でコピーしたオブジェクトがデザインウィンドウの左上に貼り付けられます。  
適当な位置に移動してください。

### 3.2.4 [前面へ] オブジェクトを前面へ移動する

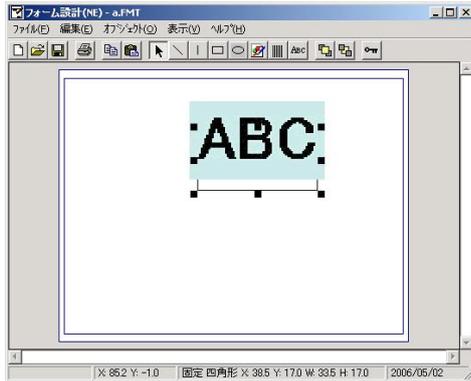
複数のオブジェクトが重なりあっているとき、選択したオブジェクトを最前面へ異動します。

1. ツールバーの [選択] アイコンをクリックします。



または、[オブジェクト] → [選択] を選び、[選択] の横にチェック「✓」が付いた状態にします。

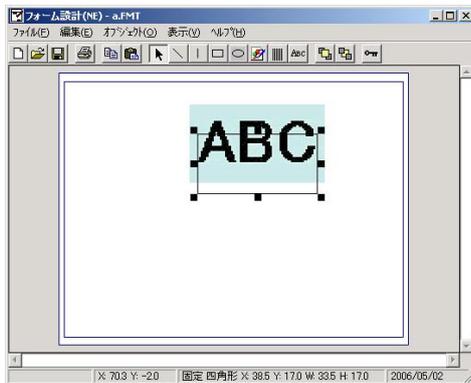
2. 最前面に移動したいオブジェクトをクリックします。  
オブジェクトが選択されます。



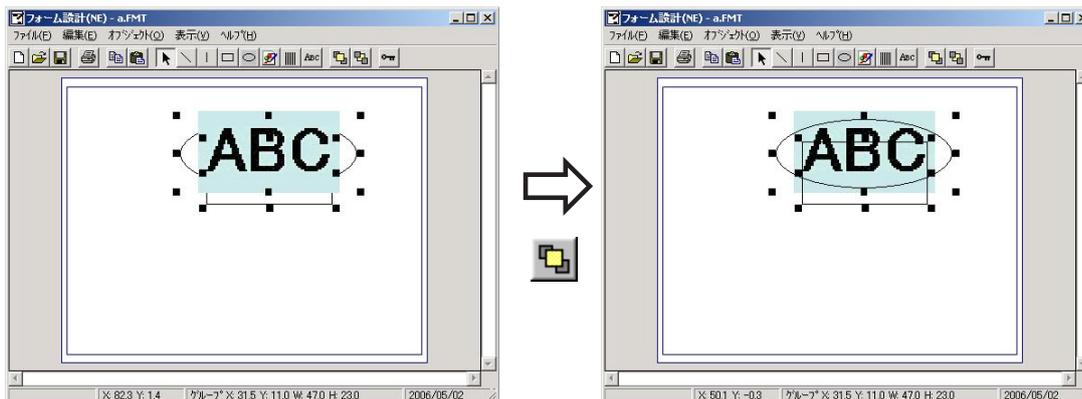
3. ツールバーの [前面へ] アイコンをクリックします。



または、[編集] → [前面へ] を選ぶか、[CTRL] + [F] キーを押します。  
選択されているオブジェクトが最前面へ移動します。



複数のオブジェクトを選択したときは、選択したすべてのオブジェクトが最前面へ移動します。



### 3.2.5 [背面へ] オブジェクトを背面へ移動する

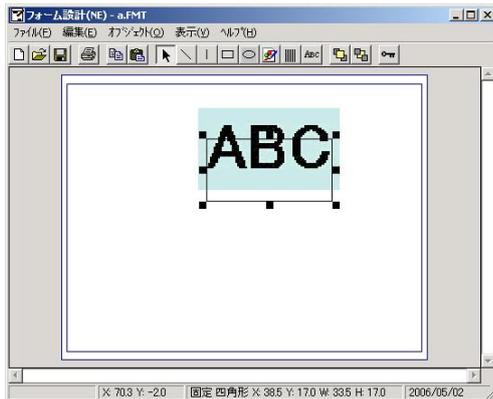
複数のオブジェクトが重なりあっているとき、選択したオブジェクトを最背面へ異動します。

1. ツールバーの [選択] アイコンをクリックします。



または、[オブジェクト] → [選択] を選び、[選択] の横にチェック「✓」が付いた状態にします。

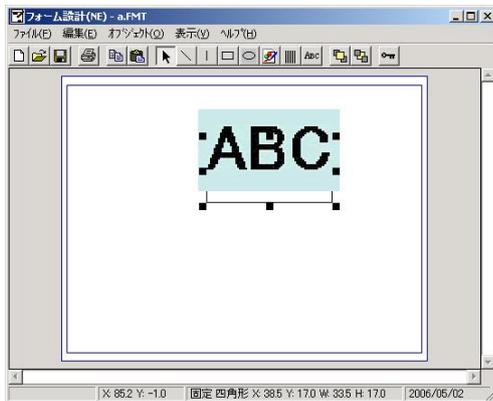
2. 最背面に移動したいオブジェクトをクリックします。  
オブジェクトが選択されます。



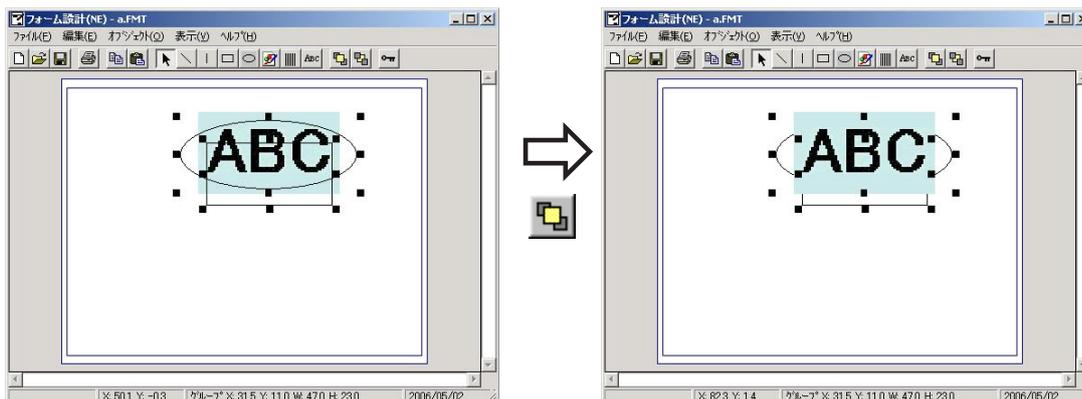
3. ツールバーの [背面へ] アイコンをクリックします。



または、[編集] → [背面へ] を選ぶか、[CTRL] + [B] キーを押します。  
選択されているオブジェクトが最背面へ移動します。



複数のオブジェクトを選択したときは、選択したすべてのオブジェクトが最背面へ移動します。



### 3.2.6 [左揃え] [右揃え] [中央揃え] [上揃え] [下揃え] オブジェクトを配置する

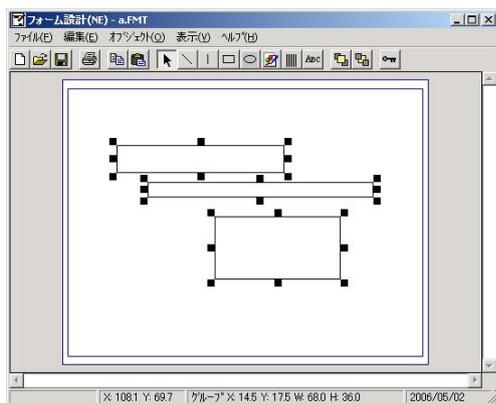
選択したオブジェクトをそれぞれ配置します。

1. ツールバーの [選択] アイコンをクリックします。



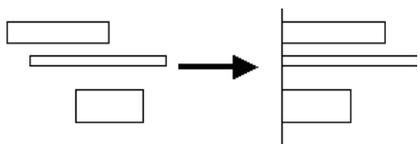
または、[オブジェクト] → [選択] を選び、[選択] の横にチェック「✓」が付いた状態にします。

2. 配置したいオブジェクトをクリックします。  
オブジェクトが選択されます。

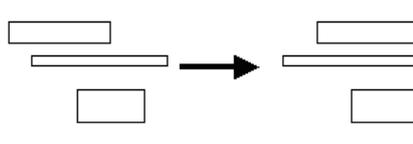


3. [編集] → [左揃え] / [右揃え] / [中央揃え] / [上揃え] / [下揃え] を選びます。  
配置方法を選びます。  
それぞれ次のように配列されます。

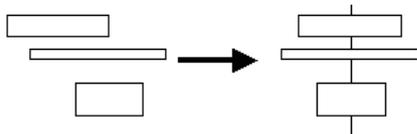
#### 【左揃え】



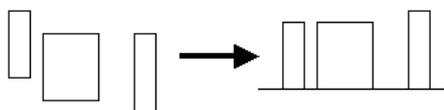
#### 【右揃え】



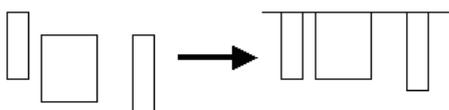
#### 【中央揃え】



#### 【下揃え】



#### 【上揃え】



### 3.2.7 [すべてを選択] すべてのオブジェクトを選択する

[編集] → [すべてを選択] を選びます。

デザインウィンドウに表示されているオブジェクトがすべて選択されます。

## 3.3 【オブジェクト】メニュー

### 3.3.1 [選択] オブジェクトを選択する

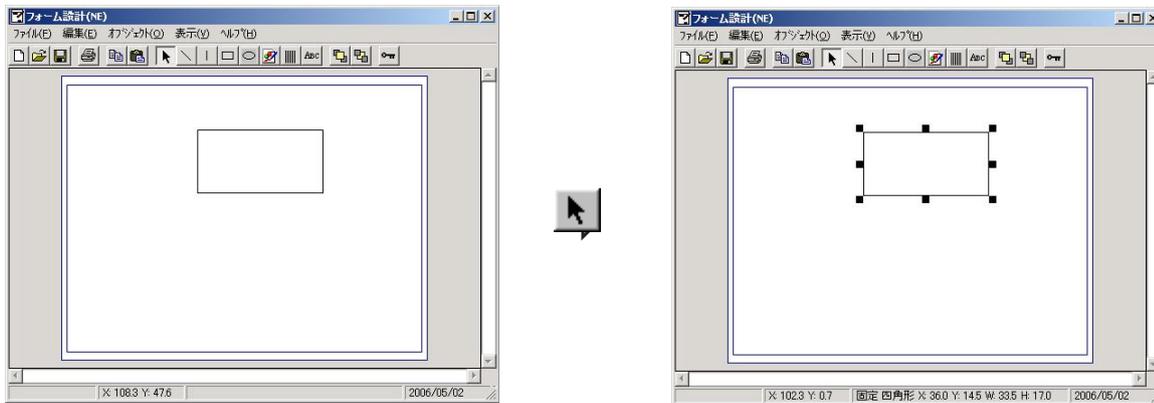
1. ツールバーの [選択] アイコンをクリックします。



または、[オブジェクト] → [選択] を選び、[選択] の横にチェック「✓」が付いた状態にします。

2. 選択したいオブジェクトをクリックします。

オブジェクトが選択された状態になります。



●複数のオブジェクトを選択したいときは、[Ctrl] キーを押しながらクリックします。

### 3.3.2 [線] [水平線・垂直線] 直線を追加する

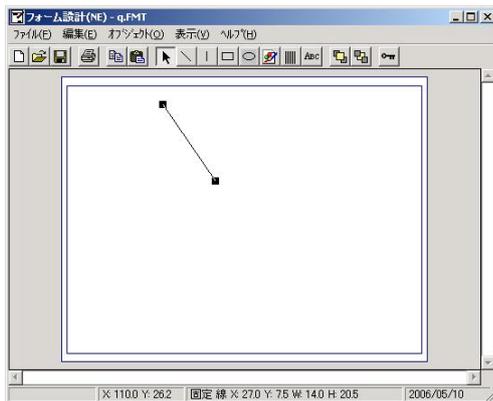
1. ツールバーの [線] アイコン、または [水平線・垂直線] アイコンをクリックします。



または、[オブジェクト] → [線] または [水平線・垂直線] を選びます。

2. デザインウィンドウのフォーム上で、直線の始点としたいところでマウスの左ボタンを押し、そのままボタンを離さずにマウスを移動して、終点でボタンを離します。

(オブジェクト：線の場合)



- 線オブジェクトのサイズを変更したいときは、線オブジェクトをクリックし、そのままマウスをドラッグして変更したいサイズのところで離します。
- 線オブジェクトをダブルクリックすると [線設定] ダイアログが表示され、線の太さや色を設定することができます。



- [フィールド番号]： フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。ラベル発行ソフトで使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。
- [フィールドタイプ]： ラベル発行ソフトで入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。
- [太さ (mm)]： 選択した線オブジェクトの太さを 0.1mm 単位で設定します。
- [色]： 選択した線オブジェクトの色を設定できます。  
 をクリックすると [色の設定] ダイアログが表示され、独自の色を作成して追加することができます。

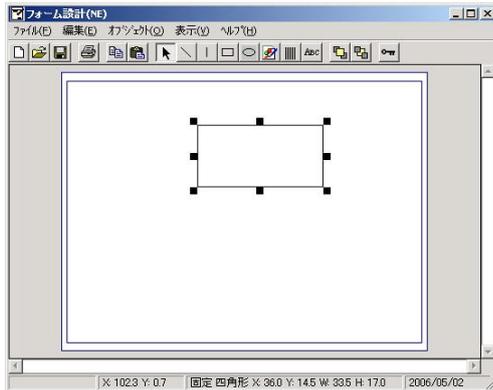
### 3.3.3 [矩形] 四角形を追加する

1. ツールバーの [矩形] アイコンをクリックします。



または [オブジェクト] → [矩形] を選びます。

2. デザインウィンドウのフォーム上で、始点としたいところでマウスの左ボタンを押し、そのままボタンを離さずにマウスを移動して、終点でボタンを離します。



- 矩形オブジェクトのサイズを変更したいときは、矩形オブジェクトをクリックし、そのままマウスをドラッグして変更したいサイズのところで離します。
- 塗りつぶし設定した図形オブジェクトの上に、それよりも小さい図形オブジェクトを配置した場合、下の大きい図形を選択すると上のオブジェクトを選択することができません。  
下のオブジェクトの選択をいったん解除してから上のオブジェクトを選択してください。
- 矩形オブジェクトをダブルクリックすると [矩形設定] ダイアログが表示され、矩形の線の太さや色、塗りつぶしパターンなどを設定することができます。



- [フィールド番号] : フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。  
ラベル発行ソフトで使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。
- [フィールドタイプ] : ラベル発行ソフトで入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。
- [太さ (mm)] : 選択した矩形オブジェクトの線の太さを 0.1mm 単位で設定します。

- [色]： 選択した矩形オブジェクトの線の色を設定できます。 をクリックすると [色の設定] ダイアログが表示され、独自の色を作成して追加することができます。
- [パターン]： 矩形内部の塗りつぶしパターンを「無し」、「塗りつぶし」、「横線」、「縦線」、「斜め線 (右下がり)」、「斜め線 (左下がり)」、「垂直格子」、「斜め格子」から選択できます。初期値は「無し」です。
- [色]： 矩形内部の塗りつぶしパターンの色を設定できます。 をクリックすると [色の設定] ダイアログが表示され、独自の色を作成して追加することができます。
- [半径 (mm)]： [矩形のコーナーを丸くする] にチェックすると、コーナーの半径を 0.1mm 単位で設定できます。
- [矩形のコーナーを丸くする]： チェックすると、矩形の角が丸くなります。塗りつぶしの [パターン] が「無し」の場合のみ、設定できます。

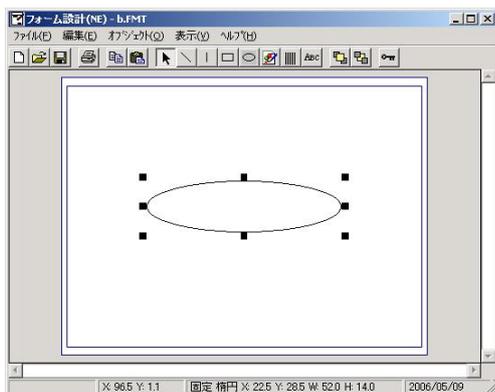
### 3.3.4 [楕円] 楕円を追加する

1. ツールバーの [楕円] アイコンをクリックします。



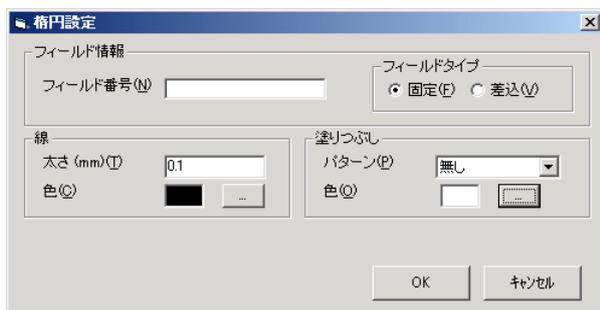
または [オブジェクト] → [楕円] を選びます。

2. デザインウィンドウのフォーム上で、始点としていたいところでマウスの左ボタンを押し、そのままボタンを離さずにマウスを移動して、終点でボタンを離します。



- 楕円オブジェクトのサイズを変更したいときは、楕円オブジェクトをクリックし、そのままマウスをドラッグして変更したいサイズのところで離します。
- 塗りつぶし設定した図形オブジェクトの上に、それよりも小さい図形オブジェクトを配置した場合、下の大きい図形を選択すると上のオブジェクトを選択することができません。  
下のオブジェクトの選択をいったん解除してから上のオブジェクトを選択してください。

- 楕円オブジェクトをダブルクリックすると [楕円設定] ダイアログが表示され、楕円の線の太さや色、塗りつぶしパターンなどを設定することができます。



- [フィールド番号] : フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。  
ラベル発行ソフトで使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。
- [フィールドタイプ] : ラベル発行ソフトで入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。
- [太さ (mm)] : 選択した楕円オブジェクトの線の太さを 0.1mm 単位で設定します。
- [色] : 選択した楕円オブジェクトの線の色を設定します。  
[...] をクリックすると [色の設定] ダイアログが表示され、独自の色を作成して追加することができます。
- [パターン] : 楕円内部の塗りつぶしパターンを「無し」、「塗りつぶし」、「横線」、「縦線」、「斜め線 (右下がり)」、「斜め線 (左下がり)」、「垂直格子」、「斜め格子」から選択できます。初期値は「無し」です。
- [色] : 楕円内部の塗りつぶしパターンの色を設定します。  
[...] をクリックすると [色の設定] ダイアログが表示され、独自の色を作成して追加することができます。

### 3.3.5 [イメージ] 画像を追加する

1. ツールバーの [イメージ] アイコンをクリックします。



または [オブジェクト] → [イメージ] を選びます。

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。



2. [ファイル名] に貼り付けたいイメージファイルの名前を入力し、[開く] をクリックします。

デザインウィンドウのフォーム上に貼り付けたイメージが表示されます。



● 貼り付けられる画像ファイルは「XXX.BMP」「XXX.JPG」形式のものです。

(XXX は任意のファイル名)

上記以外の形式の画像ファイルは貼り付けることができません。

● 貼り付けたイメージオブジェクトのサイズを変更したいときは、イメージオブジェクトをクリックし、そのままマウスをドラッグして変更したいサイズのところで離します。[SHIFT] キーを押しながらサイズ変更すると、縦横倍率を固定して変更することができます。

● イメージオブジェクトをダブルクリックすると [イメージ設定] ダイアログが表示され、イメージを回転することができます。



[フィールド番号] : フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。  
ラベル発行ソフトで使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。

[フィールドタイプ] : ラベル発行ソフトで入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。

[回転] : イメージの回転角度を「0°」「90°」「180°」「270°」から設定します。

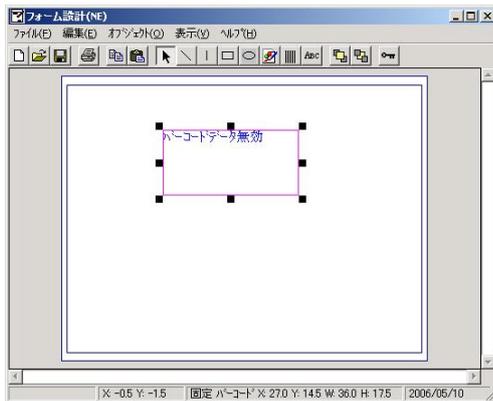
### 3.3.6 [バーコード] バーコードを作成する

1. ツールバーの [バーコード] アイコンをクリックします。



または [オブジェクト] → [バーコード] を選びます。

2. デザインウィンドウのフォーム上で、始点としてマウスの左ボタンを押し、そのままボタンを離さずにマウスを移動して、終点でボタンを離します。

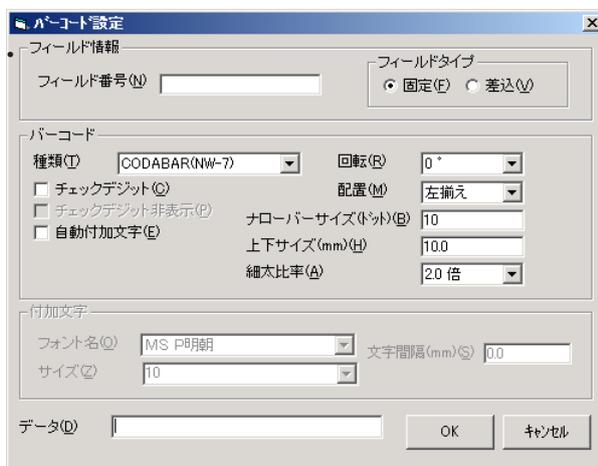


3. バーコードオブジェクトをダブルクリックします。

[バーコード設定] ダイアログが表示されます。

4. バーコードの種類やコード数値などを入力し、[OK] をクリックします。

バーコードオブジェクトが作成できます。



- [フィールド番号]： フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。  
ラベル発行ソフトで使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。
- [フィールドタイプ]： ラベル発行ソフトで入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。
- [種類]： バーコードの種類、条件を指定します。バーコードは、「CODABAR(NW7)」、「CODE39」、「JAN/EAN」、「インターリーブド 2 of 5(ITF)」、「CODE128」から設定できます。
- [チェックデジット]： チェックデジットを有効にする場合にチェックを付けます。

[チェックデジット非表示] :	付加文字としてチェックデジットを印刷しない場合にチェックを付けます。
[自動付加文字] :	入力データをバーコードの下に印刷する場合にチェックを付けます。
[回転] :	バーコードイメージの回転角度を「0°」「90°」「180°」「270°」から設定します。
[配置] :	バーコードオブジェクトの文字の配置方法を選びます。
[ナローバーサイズ(ドット)] :	ナローバーサイズを指定します。LX 760 プリンタをご使用の場合は6ドット以上を推奨します。
[上下サイズ(mm)] :	上下サイズを指定します。
[細太比率] :	細バー、太バーの比率を選択します。
[フォント名] :	バーコードに付加するフォントを設定します。
[サイズ] :	バーコードに付加する文字のサイズを設定します。
[文字間隔(mm)] :	バーコードに付加する文字の文字間隔を0.1mm単位で設定します。
[データ] :	バーコードオブジェクトの文字を半角50文字まで入力できます。



- バーコードの高さに合わせてオブジェクトサイズを設定し、フィールドタイプを「差込」に設定すると、バーコードの上下サイズが短く印刷されることがあります。  
バーコードの高さをオブジェクトの高さ(H)と同じサイズで作成する場合は、バーの高さに付加文字領域の高さ(フォント縦サイズ+10mm)を足した値をバーコード上下サイズに設定してください。

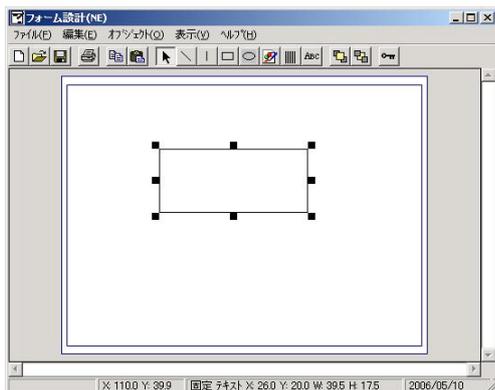
### 3.3.7 [文字] 文字を追加する

1. ツールバーの「文字列」アイコンをクリックします。



または「オブジェクト」→「文字」を選びます。

2. デザインウィンドウのフォーム上で、始点としてマウスの左ボタンを押し、そのままボタンを離さずにマウスを移動して、終点でボタンを離します。

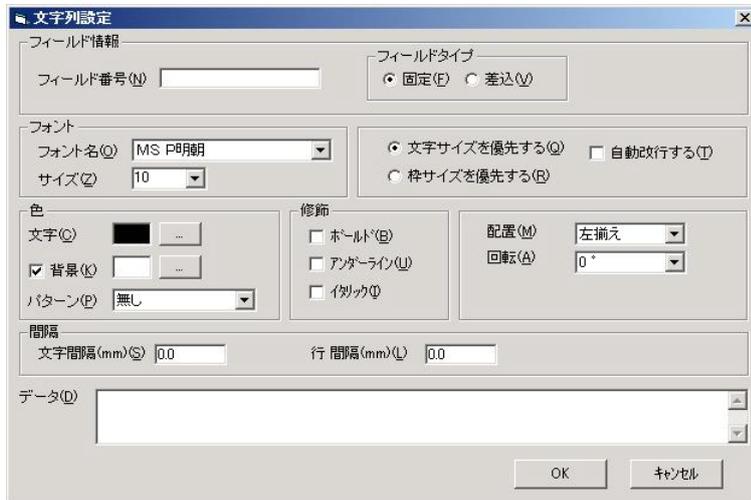


3. 文字オブジェクトをダブルクリックします。

[文字列設定] ダイアログが表示されます。

4. フィールド情報、文字列の入力、文字色の指定、フォント、サイズなどを入力し、[OK] をクリックします。

文字オブジェクトが作成できます。



- [フィールド番号] : フィールドタイプが [差込] の場合に、3桁の数字を指定します。  
ラベル発行ソフトで使用するフィールド番号は予め定義されていますので、インストールされたフォームデータを修正する場合は、フィールド番号を変更しないでください。
- [フィールドタイプ] : ラベル発行ソフトで入力したデータを印刷する場合は [差込] を選択し、[フィールド番号] に入力します。
- [フォント名] : 文字オブジェクトのフォントの種類を設定します。
- [サイズ] : 文字オブジェクトの文字サイズを設定します。
- [文字サイズを優先する] [枠サイズを優先する] : [サイズ] で設定した文字サイズを優先して印刷するか、枠サイズを優先して文字列を印刷するかを設定します。
- [自動改行する] : チェックを付けると、[データ] に入力した文字が文字オブジェクト枠内に表示できるように自動改行します。
- [文字] : 文字オブジェクトの文字の色を設定します。  
 をクリックすると [色の設定] ダイアログが表示され、独自の色を作成して追加することができます。
- [背景] : チェックを付けると、文字オブジェクトの背景の色が設定できます。  
 をクリックすると [色の設定] ダイアログが表示され、独自の色を作成して追加することができます。チェックを付けないと、背景色は透明になります。
- [パターン] : 文字オブジェクト内部の塗りつぶしパターンを「無し」、「塗りつぶし」、「横線」、「縦線」、「斜め線 (右下がり)」、「斜め線 (左下がり)」、「垂直格子」、「斜め格子」から選択できます。初期値は「無し」です。
- [ボールド] [アンダーライン] [イタリック] : 文字オブジェクトのフォントの修飾を設定します。
- [配置] : 文字オブジェクトの文字の配置方法を選びます。
- [回転] : 文字オブジェクトの回転角度を「0°」「90°」「180°」「270°」から設定します。

- [文字間隔 (mm)] : 文字オブジェクトの文字の左右間隔を 0.1mm 単位で設定します。
- [行間 (mm)] : [データ] に入力した文字の行間隔を 0.1mm 単位で設定します。
- [データ] : 文字オブジェクトの文字を全角 500 文字まで入力できます。改行は入力したとおりに反映されます。



- 文字列オブジェクトのフォントに System フォントを使用すると、フォントサイズが正しく表示されない場合があります。このときは、TrueType Font に設定してください。

### 3.3.8 [ロック] オブジェクトのサイズ変更・移動を禁止する / 禁止解除する

1. ロックしたいオブジェクト（またはロックを解除したいオブジェクト）を選択します。  
オブジェクトをクリックします。複数のオブジェクトを選択したいときは、[CTRL] キーを押しながらマウスでクリックします。
2. ツールバーの [ロック] アイコンをクリックします。



または [オブジェクト] → [ロック] を選びます。

ロック状態になるとロックの横にチェック「✓」が付き、ロックが解除されるとチェックが消えます。選択したすべてのオブジェクトがロック状態（またはロックを解除された状態）になります。ロックするとサイズ変更や移動ができなくなりますが、オブジェクトの色やフォントなどは設定ダイアログを開いて変更できます。

### 3.3.9 [全てのロックを解除] 全てのロックを解除する

1. [オブジェクト] → [全てのロックを解除] を選びます。  
選択していないオブジェクトも含め、ロック状態のオブジェクト全てのロックが解除されます。

### 3.3.10 [削除] オブジェクトを削除する

1. 削除したいオブジェクトをクリックします。  
複数のオブジェクトを選択したいときは、[CTRL] キーを押しながらクリックします。
2. [オブジェクト] → [削除] を選びます。  
選択したオブジェクトが削除されます。

## 3.4 [表示] メニュー

### 3.4.1 [ツールバー] ツールバーを表示する／非表示にする

[表示] → [ツールバー] をクリックします。  
画面上のツールバーの表示 / 非表示が切り替わります。

### 3.4.2 [ステータスバー] ステータスバーを表示する／非表示にする

[表示] → [ステータスバー] をクリックします。  
画面上のステータスバーの表示 / 非表示が切り替わります。

### 3.4.3 [全体] [拡大] イメージを全体表示する／拡大表示する

[表示] → [全体] または [表示] → [拡大] をクリックします。  
デザインウィンドウのフォーム上に、全体イメージまたは拡大イメージが表示されます。  
デザインウィンドウ上でマウスを右クリックすると、イメージの全体表示と拡大表示が切り替わります。



●全体表示では、オブジェクトの表示サイズと実際の印刷と異なる場合があります。最終のレイアウトは、拡大表示で確認してください。

### 3.4.4 [グリッド表示] グリッドを表示する／非表示にする

[表示] → [グリッド表示] をクリックします。  
デザインウィンドウにグリッドが表示 / 非表示されます。

### 3.4.5 [グリッドに位置合わせする] オブジェクトをグリッド位置に合わせて配置する

[表示] → [グリッドに位置合わせする] をクリックします。  
オブジェクトを追加したときや移動するときに、グリッド単位で位置が調整されます。  
またサイズも、グリッド単位に変更できます。

### 3.4.6 [グリッド設定] グリッド単位を設定する

[表示] → [グリッド設定] をクリックします。  
[グリッド設定] ダイアログが表示されます。



[幅 (mm)] : 縦方向のグリッドの間隔を選択します。初期値は 0.5mm です。

[長さ (mm)] : 横方向のグリッドの間隔を選択します。初期値は 0.5mm です。

## 3.5 [ヘルプ] メニュー

### 3.5.1 [目次] オンラインヘルプを表示する

[ヘルプ] → [目次] を選びます。  
オンラインヘルプの目次が表示されます。

### 3.5.2 [トピックの検索] オンラインヘルプのトピック検索を表示する

[ヘルプ] → [トピックの検索] をクリックします。

### 3.5.3 [フォーム設計 (NE) バージョン情報] フォーム設計ソフトのバージョンを調べる

[ヘルプ] → [フォーム設計 (NE) バージョン情報] をクリックします。  
お使いのソフトのバージョンが表示されます。

**Canon**

キヤノンファインテック株式会社

〒341-8527 埼玉県三郷市谷口 717

4Y1-8504-030

© CANON FINETECH INC. 2010

JAPAN